公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あっとほーむ小坂		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日	～	令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和7年1 月 29日	～	令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 29日		令和7年 2月 15日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出することが多い	外出することで色々な人と触れ合ったり、社会生活のルールを学べるように取り組んでいます。色々なことに興味・関心を持つことで集中力を養い、安定した気持ちで過ごせるよう配慮しています。	長期休みにしかできない取り組みの為、現状で取り組みを変えることは考えていませんが、環境の変化が苦手なお子さんに対していかに落ち着いて過ごせるか、現状の取り組みの中で考えていきます。
2	公式ラインを使うことで個々に写真添付で様子を伝えることができる	個別課題や宿題の様子だけでなく、普段の自然な様子をお伝えできるよう努めています。またInstagramと違い、公式ラインでは個々の表情をそのままお伝えできるので、実際に口頭で様子を伝える時に、より一層様子を思い浮かべられるようにしています。	写真だけでなく、動画も添付していきたいと思えます。また保護者会で動画を視聴してもらおう機会を設けようと考えています。違う学校のお友達との関わり等もお伝えすることで、保護者の方からたくさん良い話が聞けるよう取り組んでいます。
3	安心して楽しみに通うことができる事業所である	活動が固定化しないよう、また特性を考慮した活動を考えてどのお子さんでも楽しめるよう工夫しています。活動の参加が難しいお子さんでも、お友達の輪の中で一緒に過ごすことで、雰囲気を楽しめるよう配慮しています。	定期的に活動内容を見直し、更に新しい活動が提供できるように取り組んでいます。個々の気持ちに寄り添い、共有することで心の安定を図り、お子さん自身が「行きたい」と思えるような事業所を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がないこと	年度末に保護者会を行っていますが、その他の交流の場はありませんでした。お仕事をされている保護者も少なく、時間の調整等が難しい状況です。	次年度は保護者会の他に茶話会を検討しています。日程に関しては全員が合わせることが難しいとは思いますが、アンケートを取るなどしてできるだけたくさん保護者の方に出席してもらい、交流ができるようにしていきたいと考えています。
2	地域交流がないこと	近くの児童館に行ったり、凧合戦を観に行くことはありましたが、交流はありませんでした。大人数の場所が苦手なお子さんや環境の変化に敏感なお子さんもいる中で、どのように交流するかが課題でもありました。	次年度は他事業所との交流や、3施設ある自事業所での交流ができるように計画していきたいと考えています。その際は特性のあるお子さんの対応にも配慮して取り組んでいきたいと思えます。
3	各種マニュアルや避難訓練の周知・説明が不十分だったこと	マニュアルの策定はしていましたが、周知・説明が不十分でした。避難訓練に関しては、SNSや日々の連絡帳(公式ライン)でお伝えはしていましたが、全体への周知が不十分でした。	各種マニュアルの周知は目に入りやすい玄関に掲示し、お迎えに来られない保護者の方にも周知できるようホームページに掲載します。避難訓練に関しては事前に日程をお伝えしたり、行ったことが分かるようSNSやお便りで周知していきます。